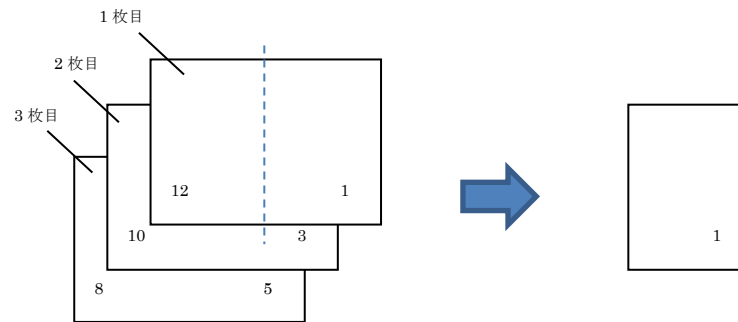


手洗い絵本「バイキンたちをやっつけろ！」

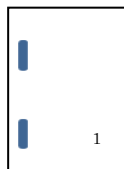
※作り方

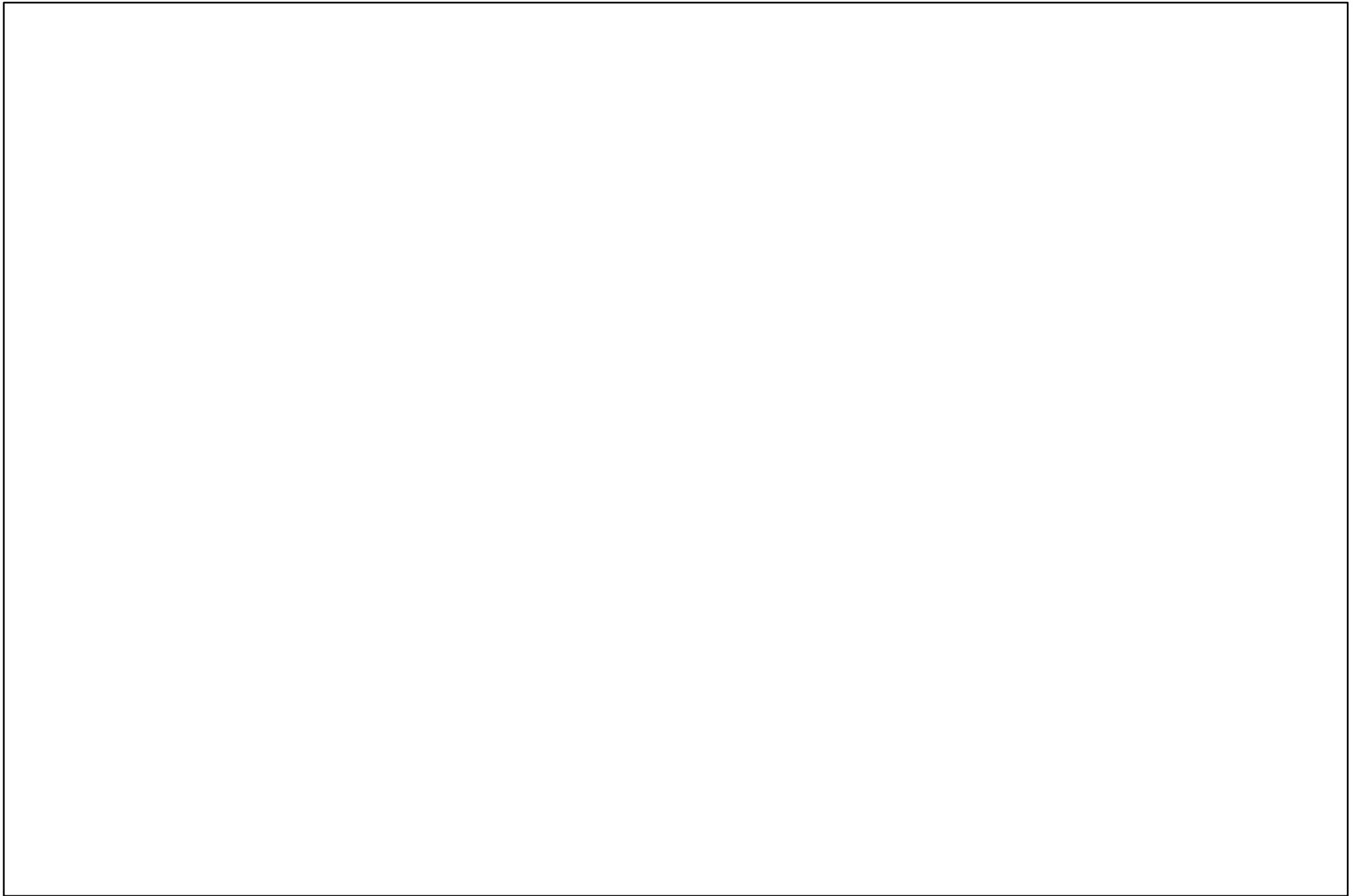
① 両面印刷（短辺を綴じる）で印刷する

② 印刷された順に重ねて半分に折る



③ 左端をホチキスで止める（ホチキス止めした箇所は、適宜テープなどで保護してください）







あっちゃんは おへやに もどってきました。



「おかあさん、ちゃんと てを あらえたよ。

おにぎり、いただきまーす♪」

あっちゃんは あわりんどの やくそくを おもいだしながら、
おにぎりを おいしく たべました。

おしまい。



あっちゃんは、おうちで おひるごはんを たべるところです。

きょうの ^{めにゅー}メニューは、あっちゃんの だいすきな おにぎりです。



「わーい、おにぎりだ～。いただきまーす。」



「ちょっとまって、あっちゃん。 ごはんのまえに
てを あらってきてね。」



「えー、しかたないなあ。 てを あらいにいこう。」



ぼしゃ ぼしゃ ぼしゃ



「めんどくさーい。せっけんは つかわなくていいや。」

みずで あらって、はい おしまい!

ふくで ふいちゃおうと。 さあ、おにぎりを たべよう。」



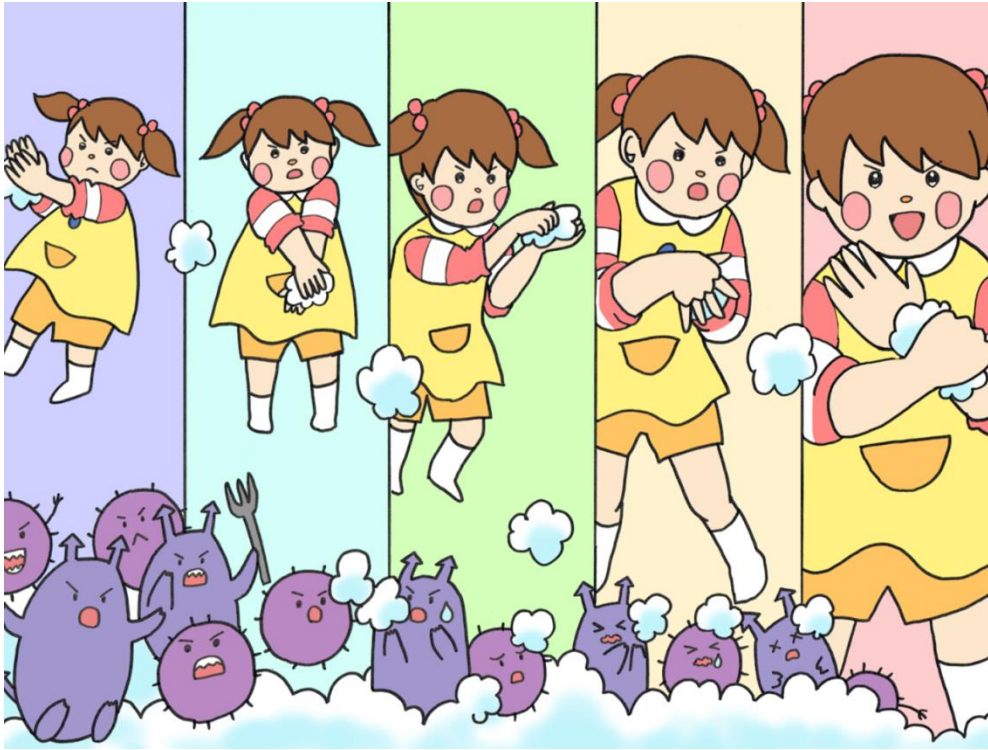
「うわ～、ながされちゃうよ～。」

バイキンたちは、きれいに ながされていきました。



「あっちゃん、ありがとう。これからも、てあらいのじゅつを
わすれずに、しっかり てを あらってね。

わたしとの やくそくだよ。」



「わかったよ、あわりん。まず、てを みずで ぬらして、
せっけんを つける。

てのひら、てのこうを ゴシゴシ。

ゆびさき、ゆびの すきまも ゴシゴシ。

さいごに てくびも わすれずに ゴシゴシ。

しっかりあらうぞー。」



「うわ～。どんどん ちからが ぬけていくー。」



すると、せっけんから なにか とびだしてきました。



「わたしの なまえは あわりん。

みずで ながしただけでは、ては きれいに ならないよ。
それに、おようふくで ふいてしまったら、もっと てが
よごれてしまうかも しれないよ。」

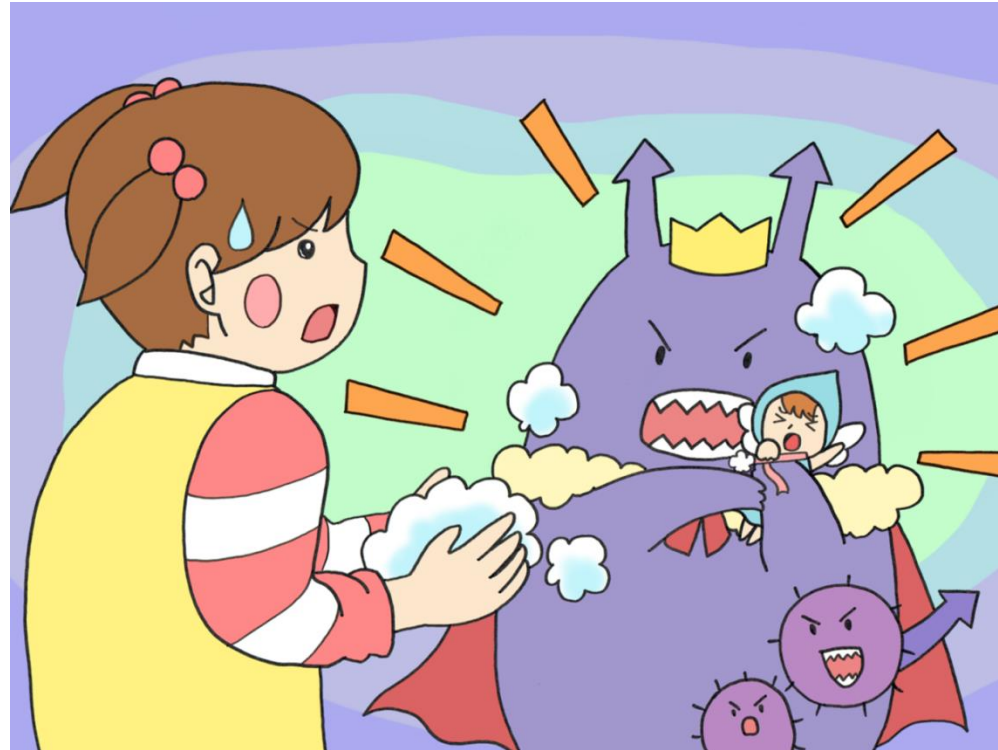


「みててね。わたしが まほうのちからで
あっちゃんに **バイキン**が 見えるように するね。」

きらきらきら～



「うわあー。 てに たくさんの **バイキン**が
ついてる！ あれっ、**バイキン**が なにか いったるよ。」



「せっけんなんか **まけて たまるか!**」

バイキンおうは うでを のぼして **あわりん**を つかまえて
しまいました。



「たいへん！ **あわりん**を たすけないと。」



「あっちゃん、さっきの てあらいの **じゅつ**を
おもいだしながら もういちど やってみて。」



あっちゃんが てを ゴシゴシ あらってみると・・・



「うわ～、せっけんで ツルツル すべっちゃう。
つめや てのひらの しわに かくれてた なかまたちも
みつかっちゃうよ。みつかったら みずで ながされて
しまうよ～」



「ワッハッハー。 おれは バイキンの おうさま
バイキンおうだ！ おれたちは めに みえないくらい
ちいさくて、どこにでも すんでいるんだ。
もちろん、あっちゃんの てにも すんでいるのさ。」



「おれたちは てから たべものに
とびうつって、たべものと いっしょに くちのなかに
とびこむんだ。
おれたちが おおあばれ するから、にんげんは
ねつが できたり、おなかが いたくなったり するんだ。」

あっちゃんは こわくなって きました。



「しんばいすることは ないよ。てあらいの じゅつで
いっしょに ^{ばいきん}バイキンたちを やっつけよう。
まず てを みずでぬらして せっけんをつけて
1 てのひら
2 てのこう
3 ゆびさき
4 ゆびのあいだ
5 てくび をゴシゴシあらおう。」